

【評価】S(簡単にできる)・A(ほぼ自力でできる)・B(支援があれば何とかできる)・C(あまりできない)・D(全くできない)

CAN-DO LIST 1年次		評価
Listening	ゆっくりはっきりと、または繰り返し使われれば、教室で 사용되는英語や教師による授業中の英語での簡単な指示(Stand up. Sit down. Come here. Be quiet. Answer in English / Japanese.など)を聞き取り、理解して行動することができる。	
	ゆっくりはっきりと、または繰り返し話されれば、教師による授業内容に関する英語の質問(疑問詞を使った疑問文)を聞いて理解し、多くの支援を活用すれば、英語で返答することができる。	
	ゆっくりはっきりと、または繰り返し話されれば、日常生活に必要な重要な情報(数字、日付、曜日など)を英語で聞いて、その内容を理解することができる。	
	ゆっくりはっきりと、または繰り返し話されれば、よく使われる表現であれば、英単語がつながって発音されてもその意味を理解することができる。	
Reading	新出語句を学習した後ならば、興味・関心のある話題に関する簡単な英文(80語程度)を読んで、概要を把握することができる。	
	多くの支援を活用すれば、英語で書かれた簡単な読み物(日本語の注や説明がついているもの)を理解することができる。(外国語学習者向けの読み物など)	
	まとまりのある短い英文(80語～100語程度)を読んで、内容に関する質問の答えとなる箇所を見つけることができる。	
	まとまりのある短い英文(80語～100語程度)を繰り返し読めば、要約された英文の空欄に適切な語句を入れることができる。	
Speaking (Interaction)	相手の話で聞き取れなかったことに対して、繰り返しもしくはより簡易な表現で言い換えてもらうよう頼むことができる。	
	日常生活の簡単な挨拶や数字、日付、季節、天気を英語で伝えることができる。	
	学校や自分のことなど身近な話題についてALTと短い会話をすることができる。	
	すでに習った表現や語句を使って、自分の感情や感謝の気持ちなどを英語で表現することができる。	
Speaking (Production)	簡単な自己紹介(指名、学年、学校、家族、住所など)を英語ですることができる。	
	多くの支援を活用し、準備をすれば、自分の興味のあることについて3文程度の英文で発表することができる。	
	教科書の本文を英語の音声的な特徴(リズムやイントネーション等)、声の大きさ等に気を付けて、ゆっくりはっきりと相手に伝わるよう音読することができる。	
	準備をすれば、自分が経験したことなど身近なことに関して写真や絵などの視覚的補助を活用しながら、簡単な英単語や英文を使って、30秒程度で発表することができる。	
Writing	多くの支援を活用し、身近なことであれば、30語程度の英語で簡単な挨拶、名前や住んでいるところ、家族や学校生活などについて簡単な自己紹介文を書くことができる。	
	多くの支援を活用すれば、時系列に沿って自分の経験や予定を英語で書くことができる。	
	例文を参考にしながら、物事の「好き」・「嫌い」とその理由を2～3文程度の英語で書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)	
	辞書などを用いれば、自分の将来の夢や希望について30語程度の英文で書くことができる。	